



	書名	著者名	請求記号
1	もうひとつのワNDER	R・J・パラシオ著、中井はるの訳	933/Pa
2	別の入	カン・ファギル著、小山内園子訳	929/Ka
3	フェイクニュースを科学する：拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダのしくみ	笹原和俊著	361/Sa
4	それ、パワハラです：何がアウトで、何がセーフか	笹山尚人著	336/Sa
5	ハラスメントゲーム	井上由美子著	913.6/In
6	その「つぶやき」は犯罪です：知らないとマズいネットの法律知識	神田芳明著	007/Ka
7	正義を振りかざす「極端な人」の正体	山口真一著	007/Ya
8	早く絶版になってほしい #駄言辞典	日経xwoman	367/Ni
9	麻薬と人間：100年の物語：薬物への認識を変える衝撃の真実	ヨハン・ハリ著、福井昌子訳	368/Ha
10	罪の因果性	横関大著	913.6/Yo
11	うちの父が運転をやめません	垣谷美雨著	913.6/Ka
12	男が痴漢になる理由	斉藤章佳著	368/Sa

もうひとつのワンダー

顔に重度の障害を持つ10歳のオギーの物語、『ワンダー』は世界で600万部のベストセラーであり、映画化もされ触れた人も多かっただろう。オギー自身の視点だけでなく、姉のヴィアや友達ジャックなど周りの目を通して、みんなが悩み成長していく年と

描いた傑作だ。そのヒットに伴い「ジュリアン・スティーブン・ブメントが起った」という。ジュリアン・スティーブン・ブメントという罰を受ける少年だった。そのジュリアンを含む3人の物語が『もうひとつのワンダー』。あひの

「身近な罪」に陥らないための1つの理解を、このスピンオフが書かれた意義に託したい。シャーロットの音が大好きです！

過ちに引き合つた、友達に気持ちを伝へて、自分を認めたり、誰かに頼むにしたりして、その中で、勇気が必要だと気づかされる。少年少女たちが、勇気をふり絞って踏み出す姿に、かつて10歳だった誰かが、勇気をふり絞って踏み出す姿に、かつて何度か涙あふれていました。シャーロットの言葉を引用します。女子は読みな素敵な友情でして、

旅の終わりと、それぞれの家に帰る。もう一度、女子は読みな素敵な友情でして、

読み比べしてみよう▶カン・ファギル著『別の入』

— この社会は誰かを同意不要の存在とみなしていないか。

「幸せそうな女性を見ると殺したい」と思っている。電車内で居合わせただけの女子大生を殺そうとした犯人の供述に、恐怖したこの夏。韓国では2016年にミソジニーによる女性無差別殺人事件が起こり、それから社会が大きく変化した。文壇には多くの「ヤングフェミニスト」作家が誕生し、様々なメッセージ作品として発表されている。そんな韓国で2017年に発表された本作『別の入』(カンファギル著)は、まず小説としてラストまで頁を捲る手を止まらせない面白さがある。そのうえで女子と男子、そして女子と女子の危うさを深く考えさせられる。

敢えてであろうが、主人公ジナは主人公として美しい人物といえない。本人の語りから始まり同情していると、別の入の視点になりジナの嫌な面がこびりついてくる。しかしそれほどの人物にもいえるのだ。そこがともリアルだと思った。人は皆、自分の視点で一生懸命に生きているが、別の入の視点では自分を見られない。誰かにとって忘れられない傷をつけた罪にすら気づかず忘れていく。きっと自分の過去にもあるのだろう。それでも、過去は変えられなくとも、絶望を引き受けて未来を変えていく力も、みんな持っている。



フェイクニュースを科学する

拡散するデマ・陰謀論、プロパガンダのしくみ

現代は超データ社会（情報の洪水）です。

P.112

全世界で生み出される
データの量
44ゼタバイト
(21コのゼロがつく数)

ツイッター
投稿
5億
1日

フェイスブック
投稿
47億5000万
1日

P.125

ツイッター
アクティブユーザ
3億3000万
そのうち
ボットは
4800万
人
約
(約14%)


偽ニュースの拡散はなぜ起こるのでしょうか？

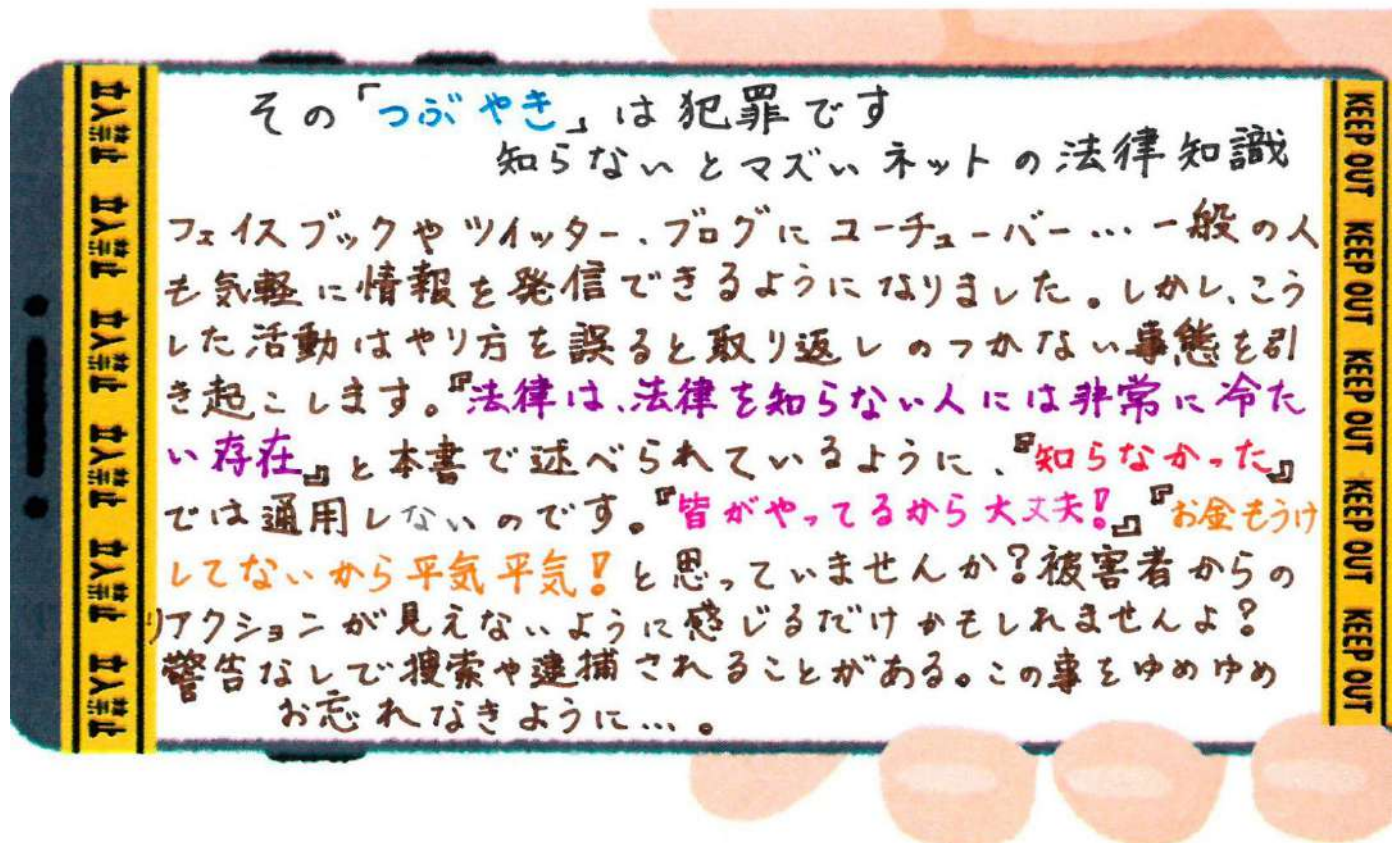
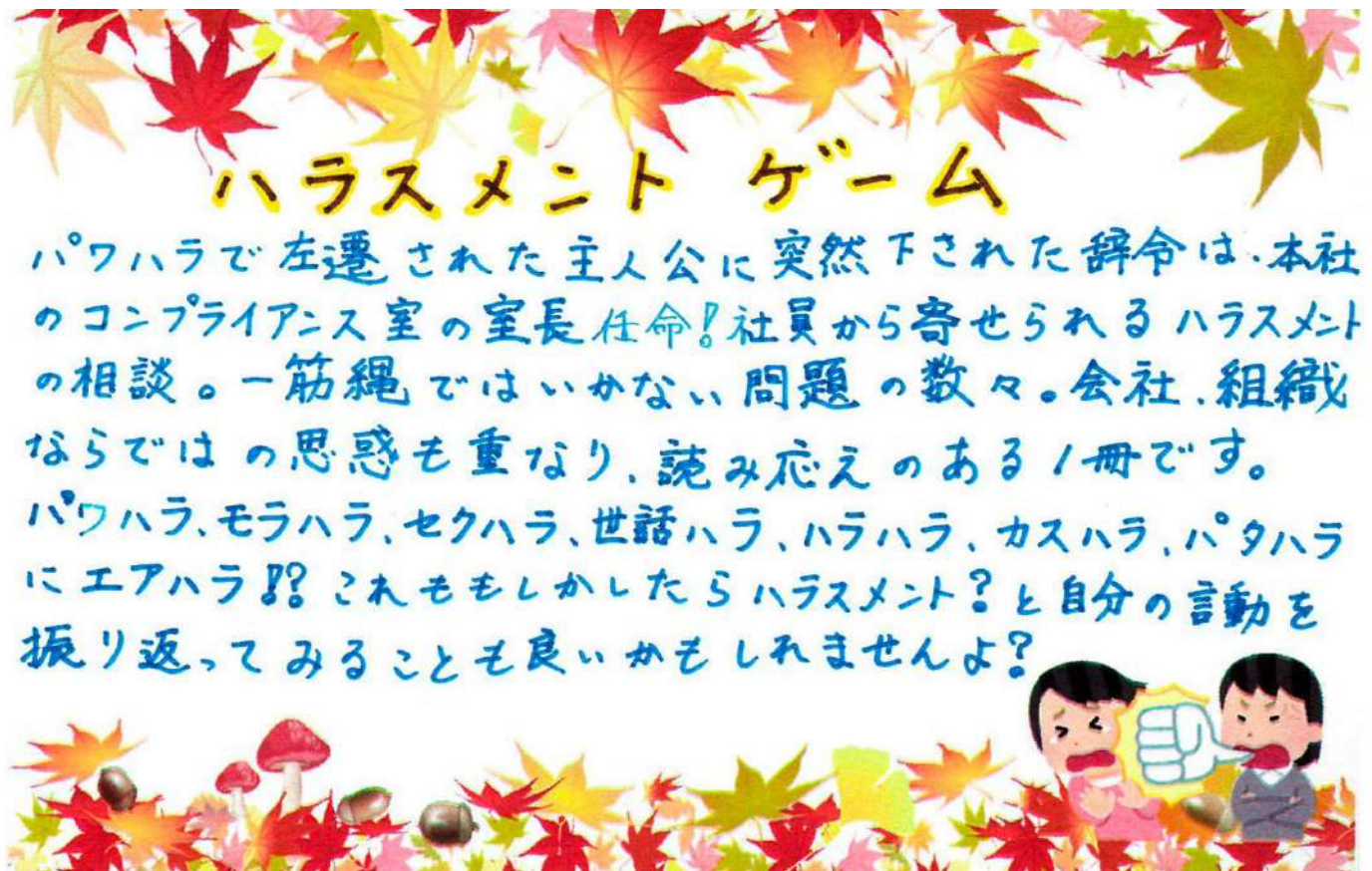
- ・バックファイア効果 (p55) ・認知的不協和 (p57)
- ・バンドワゴン効果 (p58) ・情動感染 (p67)

きっと、あなたにも当てはまるはずです。

弁護士である筆者が、
これまで扱ってきた様々なパワハラ
事件・世の中には本当に色々な
人間がいて理不尽な職場があるものだ、
その実態に暗い気持ちや怒りがわきます。
「**パワハラは職場の問題**」だと断定する
筆者が、法的な検討や対応によって
「**パワハラもパワハラと認定させ解決に
導く例**」については、心から良かったと感じ
ました。しかし、まだ頼りもよく人知れず
苦しんでいる人も決して少なくないことをどう
本書では「では、どうするか」として、
「**パワハラ予防や具体的対処法を
教えてくれます。**」
社会の中で自分の生命や健康を
守るために、知っておくこと、
学んでおくことは、大切ですね。

それ、パワハラです。






正義と振りかばる「極端な人」の正体

山口真一著

ネットで誹謗中傷や批判を繰り返す人は、暇な若者ではないかと思う人がタタ。しかし、現実には、「男性」「世帯年収が高い」「主任、係長クラス以上」の人もタタ、炎上に加担しているというからとても興味深い。

この本でいうこの「極端な人」は正義感から主張していることがタタため、匿名性にしても排除が難しいそう。誰でも「極端な人」になり得る？ 一度考えてみたい

今もタタタタリーな本ではないでしょうか。



早く絶版になってほしい 駄言辞典


聞いた。言われた。言ってしまった。無意識の思い込み。

駄言とは...「女はビジネスに向かない」のように思い込みによる発言。特に、性別に基づくものが多い。相手の能力や個性を考えないステレオ発言だが、言った当人には悪気がないことも多い。

世の中には、こんなにたくさん駄言であふれているのかと思うと本当におどろきます。だからこそ、人々が居てコミュニケーションを取るかぎり、駄言は無くならないのだと実感します。今一度、自分の発言を見直してみませんか？

個人的に一番印象的だった駄言


「えっクリスマスって大丈夫？ 何か大丈夫なのか、とても聞き返したい。」



麻薬と人間 100年の物語 ヨハン・ハリ

薬物への認識を変える衝撃の真実

麻薬。「ダメ・絶対」と教えられてきた世代は、この本を読
みと、何が罪であるのか、根本から考え直すせうれること
 でしょう。いわゆる麻薬オ業減のための「麻薬戦争」が、
 アメリカで始まったのは、およそ100年前。そこから今まで、
麻薬こそが悲劇の根本原因であり、薬物を根絶すること
こそが善であると信じられてきました。でも、本当にそうな
 のか？とこの本は問いかけます。丹念な取材により
見えてくる新しい境地。薬物依存へのアプ
 ローチの新しい視点がここにあります。



罪の因果性 横関大


市役所職員の高木佑美が、うかつ市民の個人情報を漏らしてしまう。
 後日起きた「アイドル刺殺事件」の被害者がまさにその人物だった。
 自責の念と、周囲の目から佑美は退職に追い込まれ、恋人とも破局
 してしまうが、その三年後、被害者のファンが事件を再検証したいと現れる……
 そこで暴かれる、「ストーカー事件」に巻き込まれた市役所職員ではない、真実
 三人の人間の「ちよとした罪」が招いてしまった殺人事件。
 あなたの身近な「罪」も大丈夫ですか！

『私は関係ない。はずだ』

うちの父が運転をやめません 堀谷美雨


「また高齢ドライバーの事故かよ」

高齢ドライバーによる事故のニュースが話題となっています。
 都会で暮らす雅志と、故郷の田舎で離れて暮らす年老いた両親。
 その両親には生活の足となる自動車が必要です。
 しかし身体の衰え、認知症の兆候と、運転技術が怪しくなると
 さらに田舎の過疎化が進み、ライフラインの確保が難しくなり……。
 単に免許を返納すれば解決される問題ではないことがみえて。
 自動車事故は罪です。事故を起こさない為には
 何が出来るのか……。
 雅志とその息子、周りの家族の変化も面白いです。



男が痴漢になる理由

日常で起こるも、とも身近な性犯罪・痴漢。
 あなには「女性に暴漢に襲われた」と知り、Tは時、
 「夜遅くに一人で歩いていたらじゃないか？」
 「露出の多い服を着ていたらじゃないか？」
 などと考えTはことではないTは言うか？ その「女性(被害者)に
 責任を押しつける」考え方は痴漢が自分は悪くないと
 思い込むことと同じであると言著者は言う。本書は
 この間違、Tは考え方「認知の歪み」が起こる原因
 加害者が反省しない理由、性犯罪者、更正プログラムの
 現状等、痴漢に特化した専門書である。





愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2021年11月

それ、アウトです。あなたの身近な「罪」

